

● 若い社員とのコミュニケーションが 会社発展の秘訣



嶋清文 社長

大和興業株式会社

(愛知県春日井市)

春日井市明智町に自慢の産廃破碎処理施設、「(株)大和处理センター」を持つ大和興業は、産廃処理業では尾張の草分けだそうです。本社に嶋社長を訪ねました。

— 創業の経緯を教えてください。

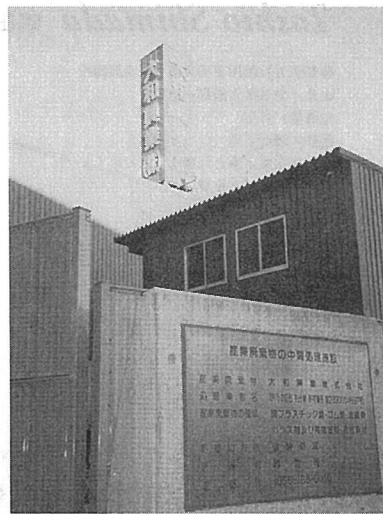
嶋社長(以下、嶋に略)「昭和46年に大阪から当地に来まして、2トン車1台から始めました。当時は清掃法も何もありません(清掃法施行は翌年7月)。ですから他業者はほとんどおりませんでした。産廃廃棄物もうるさくない時代でした。この尾張地区で廃棄物の仕事を始めたのは、当社が最初だと思います。出生地が奈良大和でございますので、当初、「大和(だいわ)清掃」の社名でスタートしました。

— 従業員教育はどのようなことをされていますか。

嶋「社員との密接なコミュニケーションを保つことを心掛けておりまして、その手段として毎月初めに全社員での定例会議を持っております。内容は、前月の業務の反省、安全運転の啓蒙、またお客様に対するマナーなどです。また従業員数が多いので1日の中で部門別に3回に分けて行っています。特に当社は、運輸業務上、車の構造を熟知していないと危険なこともありますので、昨年8月には愛知いすゞの教育担当者を講師に迎え、車体構造の講習会を全社員で受けました。

また、当社は社員の福利厚生活動の一環として野球部があり、小牧の連盟で優勝経験もあります。またゴルフ倶楽部もありますが、これらは全て社員が自発的に運営しております。当社はお陰様で若い社員が定着しております、その柔軟で自由な発想と行動力に期待しておりま

す。産廃事業にはいろいろクリアしなければならない問題が多く、また資本力も必要です。私共は、地域に貢献することをモットーに、今後も頑張っていきたいと思っております。』



▶ 大和处理センター



社名/大和興業株式会社
所在地/愛知県春日井市神屋町2298-356 代表者/嶋清文
創業/昭和46年 従業員/96名 TEL/0568 (88) 0010
事業所/本社、小牧営業所、西春営業所、師勝・豊山営業所、春日井出川事業所
営業種別/収集運搬、中間処理 取扱物品目/廃プラスチック類、木くず、繊維くず、ゴムくず、動植物性残渣、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、建設廃材、ダスト類、燃え殻、汚泥、鉱さい、引火性廃油、感染性産業廃棄物